

第5学年 国語科 年間学習計画

【国語の教科目標】

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

【学年目標】

- (1) 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えた事などを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

学期	単元名	学習内容
前期	だいじょうぶ だいじょうぶ／ 本に親しもう	◎人物の思いが伝わるように声に出して読みます。
	図書館へ行こう	◎日本十進分類法の分類を手がかりに、本を探します。
	一つの言葉から	◎連想によって発想を広げて言葉を集め、詩を書きます。
	動物の体と気候	◎段落の要点と段落相互の関係に注意して文章の構成を考え、要旨を読み取ります。
	文の組み立てに気をつけよう	◎文中の言葉の係り方を学び、意味が正確に伝わるように文を書いたり読んだりします。
	人の考え方を正しく聞き取る	◎話し手の意図をとらえながら聞き、複数の意見や共通点や相似点を聞き分けま
	世界でいちばんやかましい音	◎物語の構成(「設定」「展開」「山場」「結末」)をとらえ、山場で起きた変化について考え、物語を味わいます。
	新聞記事を読み比べよう	◎2つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取ります。
	漢字の由来に関心を持とう	◎漢字の由来の由来について知り、漢字の四つの成り立ちを理解する。
	立場を明確にして書こう	◎論題について自分の考えを明確にして討論します。
	本は友達	◎本や文章を読むことの楽しさを知って、読書の範囲を広げます。
	紙風船 水のころ	◎詩を読んで、自分が感じたことが表れるように音読します。
	資料を生かして考えたことを書こう	◎資料から情報を読み取り、読み取った情報を活用して呼びかけの文章を書きます。
	古文を声に出して読んでみよう	◎古文の内容の大体をつかみ、言葉の響きやリズムを味わいながら音読することができる。
敬語を適切に使おう	◎相手や場面に応じて、適切な言葉を選んで使うことを理解します。	

後期	注文の多い料理店	◎物語の構成や表現の工夫に目を見つけて作品の良さを解説します。
	不思議な世界へ出かけよう	◎場面の様子や人物の気持ちが伝わるように物語を書きます。
	意味をそえる言葉に目を向けよう／漢字の練習	◎文に意味を添える言葉の働きや使い方を理解し、文に込められた意味合いをとらえます。
	和の文化を受けつぐ	◎複数の本や資料を意識して読み、伝えたい内容や目的に合わせて資料を活用して説明します。
	熟語の構成を知ろう	◎二児熟語の構成について理解します。
	手塚治虫	◎伝記を読んで、人物の生き方について考えたことを感想文にまとめます。
	五・七・五で表そう	◎言葉を吟味し俳句を作り、互いの俳句を鑑賞してそれぞれの感じ方の違いを伝えあいます。
	古文に親しもう	◎「枕草子」とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知り、言葉の響きやリズムに注意して音読します。
	伝えよう、委員会活動	◎書く目的に合わせて材料を選び、構成を考えて相手に伝える文章を書きます。
	テレビとの付き合い方／漢字の練習	◎例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取ります。 ○読み取ったことをもとに自分の考えを書きます。
	六年生におくる字をすいせんしよう	◎推薦するものの良さについて、聞き手が納得するように構成を工夫して話します。 ◎話し手が伝えたい良さについて、納得ができるか考えながら聞きます。
	方言と共通語／漢字の練習	◎共通語と方言を比べ具体的な違いを見つけます。
	大造じいさんとがん	◎人物の心情や場面の情景に注意して、場面の展開に沿って人物の心情が表れるように朗読することができる。
	わたしの文章見本帳を作ろう	◎書いた文章の種類や表現についてを読み返し、文章の種類や表現について話し合います。

評価について

- 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。（国語への関心・意欲・態度）
- 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などについて、的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。（話す・聞く能力）
- 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書いている。（書く能力）
- 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んだりしている。（読む能力）
- 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。（言語についての知識・理解・技能）

※ テスト（漢字テスト、音読テストも含む）、授業中の発言、ノート、スピーチ、ポスターセッション、ディベート、作文、感想文、日記、作品などで評価し、学習指導に生かしていきます。